

## 母親の就業が私立・国立中学校進学に与える影響について

2009年1月19日

田中隆一<sup>+</sup>（東京工業大学）

山本雄三<sup>++</sup>（東京工業大学）

### 要旨

本研究の目的は、幼少期における母親の就業が子供の私立・国立中学校進学確率に与える影響を実証的に分析することである。幼少期における母親の就業が子供に与える影響については様々な議論が展開されているが、本研究では子供の学業的成果の指標としての私立・国立中学校進学に着目し、その進学確率に対して幼少期における母親の就業が与える影響を分析した。大阪大学 COE プログラムで実施された親子調査 2005 年版および 2007 年版のデータを用いて、「0～3 歳時」、「4～小学校就学前」、「小学校時」の各時点での母親の就業が私立・国立中学校進学確率へ与える影響をプロビットモデルで推定した結果、小学校時点での母親の就業は、子供の私立・国立中学校進学率を 3.5% 引き下げるとの結果を得たが、小学校就学以前の母親の就業については、統計的に有意な効果は検出されなかった。また母親の就業要因を考慮し、小学校在学時点における母親の就業の影響について propensity score matching 法を用いて分析したが、その分析においては、統計的有意性は若干下がるものの、小学校時点での母親の就業は、子供の私立・国立中学校進学率を 4.0% から 10.3% 引き下げるといふ、プロビット分析と同様の負の影響が観測された。

---

<sup>+</sup> 著者連絡先：東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻および社会理工学研究科社会工学専攻 田中隆一 〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 Tel/Fax: 03-5734-3760.  
E-mail: tanaka@mei.titech.ac.jp (田中)

<sup>++</sup> 著者連絡先：東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程 山本雄三 〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1  
E-mail: yamamoto.y.ad@m.titech.ac.jp (山本)